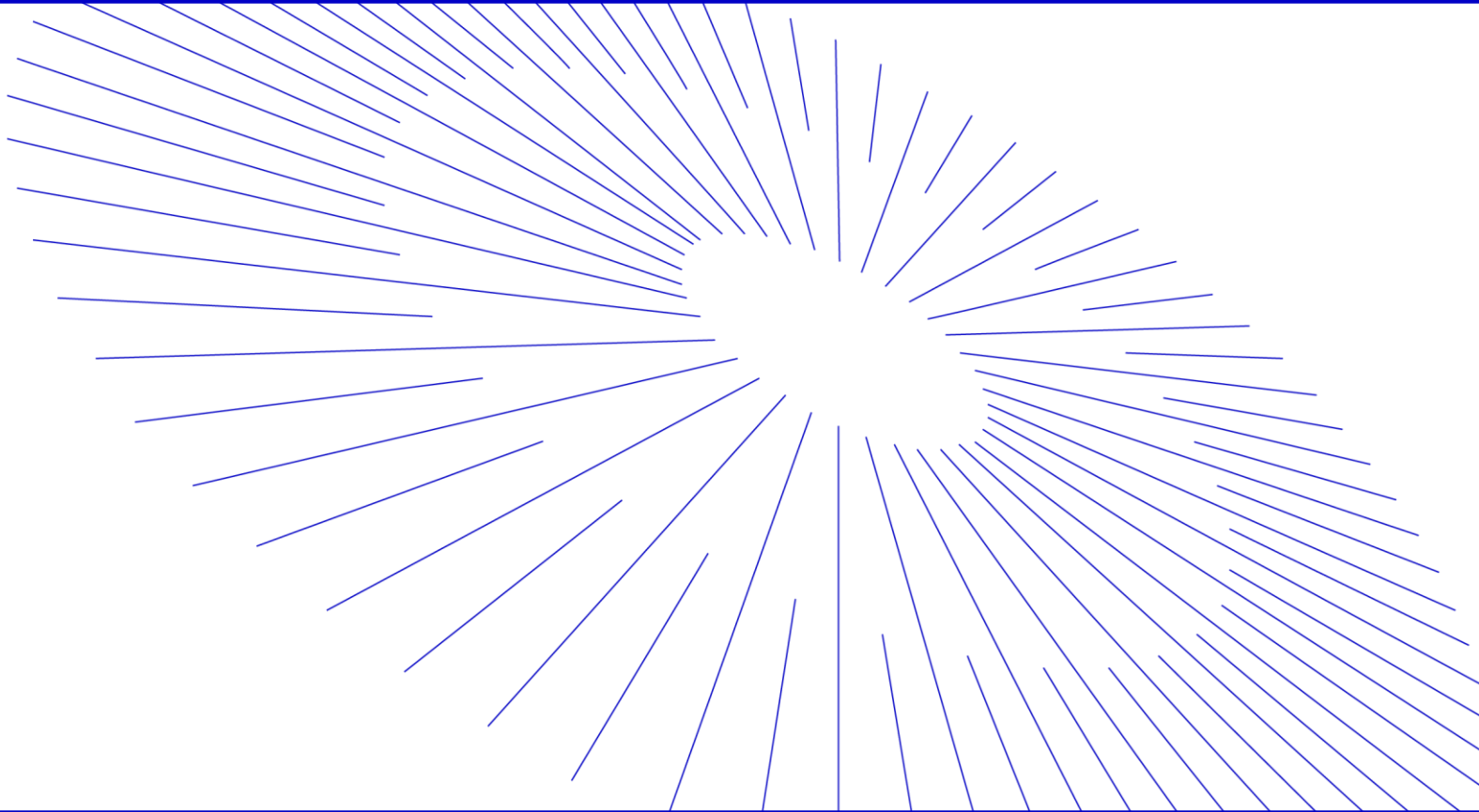


Smart Construction Quick3D

2026.8.25 リリース版について



EARTHBRAIN

Smart Construction Quick3D(以下SC Quick3D)のアップデートについて、
以下の日程・内容にてリリースを致します。

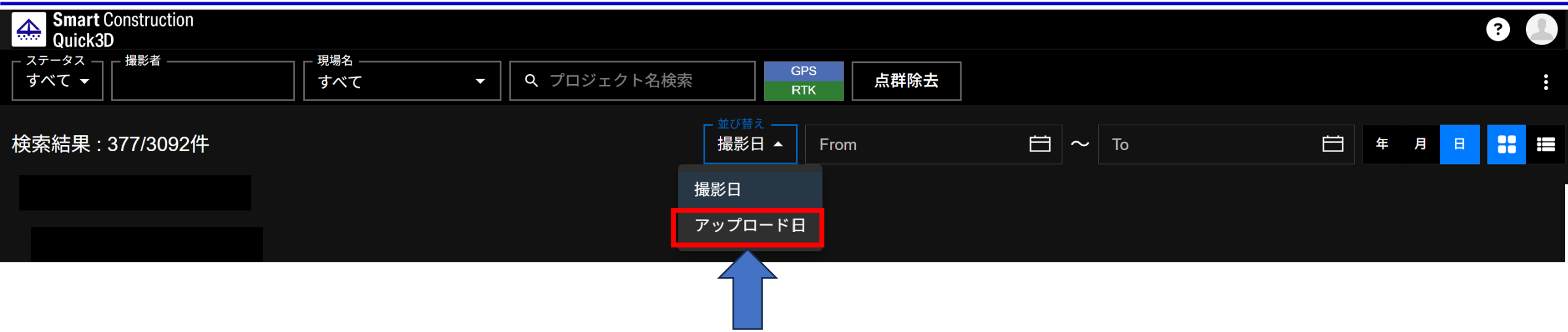
日程：日本時間 2026年8月25日(火)(予定) 18:00～20:00
(リリース作業中は、一時的にアプリが使えなくなります。)

- Webアプリ：本リリース内容については自動的にアップデートされ、
ご利用者並びにご利用中のデータにも影響はございません。

アプリ	今回リリース	(現行最新)
モバイルアプリ	Ver. 2.11.0	Ver. 2.10.2
Webアプリ	Ver. 2.11.0	Ver. 2.10.2

NO.	対象機能	対象	概要	詳細
1	プロジェクト一覧	Webアプリ	機能改善です。 Webブラウザでプロジェクト一覧からプロジェクト詳細に遷移する際の挙動を改善しました。これにより、複数のプロジェクト詳細の比較検討が容易になりました。 従来：同じタブ内でページ遷移 今後：新しいタブでプロジェクト詳細を開く。	左記の通りです。
2	プロジェクト一覧	モバイルアプリ Webアプリ	機能追加です。 プロジェクト一覧のリスト表示を可能にしました。	P.3で詳細説明しております。
3	プロジェクト一覧	モバイルアプリ Webアプリ	機能追加です。 プロジェクトの並び順をアップロード順にできる様にしました。	P.4で詳細説明しております。

NO.	対象機能	対象	概要	詳細
4	プロジェクト一覧	Webアプリ	機能改善です。 Smart Construction Groupwareからアップロードする際に、フォルダのパスを表示する様にしました。	P.5で詳細説明しております。
5	プロジェクト一覧	モバイルアプリ Webアプリ	機能追加です。 Smart Construction Design3Dで作成したデータを容易にAR表示できる様にしました。	P.6で詳細説明しております。
6	プロジェクト一覧	Webアプリ	機能改善です。 プロジェクト一覧画面の編集中のアイコンの文言を処理中に変更する	左記の通り
7	プロジェクト詳細	モバイルアプリ Webアプリ	機能改善です。 精度検証レポートの新フォーマットの対応しました。 https://www.mlit.go.jp/tec/constplan/content/001880736.pdf	P.7で詳細説明しております。



The screenshot shows the top navigation bar of the Smart Construction Quick3D application. The left side contains filters for 'ステータス' (Status) set to 'すべて' (All), '撮影者' (Photographer), and '現場名' (Site Name) set to 'すべて' (All). A search bar for 'プロジェクト名検索' (Project Name Search) is present, along with 'GPS RTK' and '点群除去' (Point Cloud Removal) buttons. The main area displays '検索結果 : 377/3092件' (Search Results: 377/3092 items). A dropdown menu for '並び替え' (Sort By) is open, showing '撮影日' (Shooting Date) and 'アップロード日' (Upload Date). The 'アップロード日' option is highlighted with a red border. A blue arrow points from the yellow text box below to this option. The right side of the interface includes date range selectors ('From' to 'To') and a date format selector ('年 月 日').

並び替えを「アップロード日」に変更すると、並び順がアップロードした順番になります。

 Smart Construction
Quick3D



ステータス
すべて ▾

撮影者

現場名
すべて ▾

プロジェクト名検索

GPS
RTK

点群除去

並び替え
撮影日 ▲

From

~

To

年 月 日



検索結果 : 377/3092件



こちらのアイコンを押すと、
プロジェクトが「リスト表示」で
表示されます。

Smart Construction Dashboardからアップロード				
ファイル名: 1770014148007_2026-02-02 15_35_20_Quick3Dテスト				
名前	パス:	拡張子	サイズ	
	/設計データ/			
1770014148007_2026-02-02 15_35_20_Quick3Dテスト		xml	6.47KB	
1770014264249_2026-02-02 15_35_32_Quick3Dテスト		xml	6.47KB	
1785396795548_2026-07-30 16_32_48_Quick3Dテスト		xml	252.87KB	

アップロード

データの種類

設計データ(IFC, LandXML)

アップロード先現場

Quick3Dテスト_STG_DEV

座標系

: EPSG:6677 / JGD2011 / Japan Plane Rectangular CS IX

垂直座標系

: EPSG:6695 / JGD2011 (vertical) height

PCローカル or Smart Construction Groupwareからアップロード

ファイル選択






Smart Construction Design3Dからアップロード

名前		拡張子	サイズ
Design_20260730	ファイル名: Design_20260730_001.xml	xml	8.05KB
Design_20260730	パス: /Output/Object/Temporary road/test1/	xml	200.59KB
Design_20260730_001		xml	200.59KB

下記資料に記載の「施工計画への記載事項・提出書類に必要な
“**精度確認試験結果報告書**”」を簡単に出力可能になりました。

(参考資料) 国交省系のICT施工「3次元計測技術 技術概要集」
<https://www.mlit.go.jp/tec/constplan/content/001880736.pdf>

P.54抜粋

施工計画への記載事項・提出書類

■点群を生成する地上写真測量

土工、土工（1,000m3未満）・床掘・小規模土工・法面整形工、法面工、付帯道路施設工等、電線共同溝工

- 1) 適用工種
適用工種に該当している工種を記載する。
- 2) 適用区域
3次元計測を行う範囲を明記する。また、平面図上に当該工事の実施範囲を示し、3次元計測技術による出来形管理範囲と「土木工事施工管理基準及び規格値（案）」による出来形管理範囲を塗り分ける。
- 3) 出来形計測箇所、出来形管理基準及び規格値・出来形管理写真基準
「設計図書」及び「出来形管理基準及び規格値」の測定基準に基づいた出来形計測箇所を記載する。自主管理するための任意の計測箇所については、記載不要である。
- 4) 使用機器・ソフトウェア
 - ①機器構成
利用する機器及びソフトウェアについて、施工計画書に記載する。
 - ②3次元計測技術本体
利用する3次元計測技術本体が下記と同等以上の計測性能を有し、適正な精度管理が行われていることを、施工計画書の添付資料として提出する。
 - ③ソフトウェア
使用するソフトウェア（ソフトメーカー、ソフトウェア名、バージョン）を記載する。カタログや仕様書は不要である。
- 5) 撮影計画
撮影計画を作成する。

記載事項

記載事項

記載事項

記載事項

提出書類

記載事項

記載事項

■ 測定精度を満たすことを確認できる書類（**精度確認試験結果報告書**）

■ 3次元設計データ作成ソフト、写真測量ソフトウェア、点群処理ソフトウェアなど

P.51抜粋



精度検証後、「精度検証レポート出力」をクリックするとレポートが生成される。

3.2 検証点による精度確認（点群を生成する地上写真測量の場合）

土工、土工（1,000m3未満）・床掘・小規模土工・法面整形工、法面工、付帯道路施設工等、電線共同溝工

計測点群データ上で取得した検証点の座標値と、現場計測の際に取得した検証点の座標値と比較して、測定精度以内であることを確認します。
 精度確認の結果は、「地上写真測量の精度確認試験実施手順書及び試験結果報告書」にとりまとめ、発注者に提出する必要があります。

- ・精度確認は、撮影後、写真測量ソフトウェアにより計測点群データを算出する際に行う。
- ・精度確認の結果、必要な精度を満たさない場合は、写真測量ソフトウェアでの処理の再実行または再計測を実施する。
- ・検証点の座標と既知点（基準点あるいは工事引照点などの既知点の座標値や、基準点あるいは工事引照点を基にT Sで計測した座標値）との座標値を比較し、各座標値（X,Y,Z）の較差が要求されている測定精度以内であることを確認する。

「精度確認試験結果報告書」を提出する

